

海浜ニュータウンという街の発見

2018

11/25 日

13:30-16:30

(13:00 開場)

千葉大学 サテライトキャンパス美浜

千葉市美浜区高浜 3-3-1 はまのわ 3F

スクラップ&ビルドの次の時代

千葉市海浜ニュータウンは、自然と緑とコミュニティに優れた街で、これまで市民活動によって成長と発展、そして持続してきました。しかし、人口変化や住宅の老朽化等により、再度、市民の英知を集め、街のあり方を再発見する必要があります。再発見と実行のテーマとして「シェア居住スタイル」の目標を掲げて、シェア居住スタイル推進会議を組織し活動を始めました。その现阶段の成果を報告するとともに、この関係で、最高の見識を持たれる賢人をお招きし話題を提供していただき、シェア居住スタイルの趣旨の公開と普及を図るシンポジウムを開催します。

プログラム

- 主催者挨拶/服部 岑生 (NPO 法人ちば地域再生リサーチ理事長)
- 来賓挨拶 熊谷 俊人 (千葉市長)
- 講演

岩本 通弥 (東京大学大学院総合文化研究科教授)

『何気ない街を記憶するー民俗学の立場から』

略歴：国立歴史民俗博物館助手、東京大学教養学部助教授を経て、同教授。日本を中心に東アジアの民俗学を専門とし、日常学としての民俗学を構想。著書に『現代民族誌の地平 記憶』『都市の暮らしの民俗学』、『ふるさと資源化と民俗学』など多数。

三浦 展 (カルチャースタディーズ研究所代表)

『シェアスタイルのニュータウン』

パルコ、三菱総合研究所を経て、カルチャー・スタディーズ研究所を設立。著書に『下流社会』『ファスト風土化する日本』、『郊外はこれからどうなる？』『これからの日本のために「シェア」の話をしよう』『郊外 その危機と再生』など多数。

- 活動報告

『シェア居住スタイルの街づくり』

鈴木 雅之 (シェア居住スタイル推進会議会長、千葉大学国際教養学部准教授)

- 参加者クロストーク 進行 鈴木 雅之 (千葉大学)

『海浜ニュータウンという街の発見』

- 交流会 (会費制 2,000円)

アクセス (公共交通をご利用ください)

- ・ JR 稲毛駅から「高浜車庫/花の美術館/海浜プール」行きバス 10分
- ・ 「稲毛高校」下車、徒歩 6分
- ・ JR 京葉線 稲毛海岸駅から「稲毛駅」行きバス 10分
- ・ 「稲毛高校」下車、徒歩 6分



申込方法

下記まで、メールまたは FAX でお申し込みください。

Email : ask@cr3.jp

Tel : 043-245-1208

Fax : 043-245-1208

主催：千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィス
NPO 法人ちば地域再生リサーチ